

平新報

上級校入學者

入學校名	卒業回数	氏名
東京高等師範學校	全	渡邊仁作
福島高商	全	川角三郎
米澤高等工業學校	全	加古信次郎
福島師範二部	全	増尾克善
全	全	江尻静男
全	全	熊谷久
全	全	鈴木久
全	全	新妻健次郎
全	全	大竹誠之助
東京歯科醫學專門學校	全	瀨尾善之
千葉醫大醫學專門部	全	殿木隆之
成城高等學校	全	瀨尾善之
富山藥學專門學校	全	山崎研治
名古屋高等商業學校	全	根本善一郎
全	全	加古信次郎
横濱高等商業學校	全	瀨尾善之
京東藥學專門學校	全	高階二郎
水戸高等學校	全	高木盛治
全	全	香取良一
全	全	小野秀雄
全	全	遠藤民雄
全	全	中村保
全	全	片寄富二雄
全	全	石田隆男
全	全	水野秀三郎
桐生高工(機)	全	遠藤民雄
宇都宮高等農林(農政經濟)	全	鈴木通夫
青山師範二部	全	新妻健次郎
東京藥學專門學校	全	星野三郎
青山學院	全	小野大三郎
北大豫科	全	金成孝一
中央大學專門部(法科)	全	渡邊四郎
日本齒科豫科	全	安藤知
明治大學商科	全	小湊秀一
物理學校	全	瀧内康雄
東京高師(文)	全	山口研次
陸軍士官學校豫科	全	鈴木孝
福島師範(二部)	全	高木善一郎
全	全	志賀新
全	全	赤津功
東京歯科醫學專門學校	全	森川四郎
東京外語(英)	全	三木忠吉
全	全	野崎與右衛門
全	全	直木林平
全	全	鯨岡稔雄
全	全	秋山一
全	全	小林允
全	全	松本弘
全	全	中村徹
全	全	齊藤鐘次郎
全	全	吉川三郎
全	全	金成令
全	全	坂本正勝
全	全	吉川三郎
全	全	首藤貞進
全	全	魚住貞雄
全	全	伊藤幸
全	全	富澤幸
全	全	三野惣平
全	全	志賀守
全	全	吉田頼英
全	全	四家四郎
全	全	富田俊上

發行日 五日發行
 毎月一回 山野邊庄吉
 編輯長 山野邊庄吉
 印刷所 平新報社
 發行所 平新報社
 廣告料 五號十二字第一行
 一〇號二十字第一行
 一五號二十五字第一行
 一〇〇字第一行
 一五〇字第一行
 一五〇字第一行
 一五〇字第一行

謹告
 来る五月五日は母校磐城中央
 學校創立四十周年になり又
 本紙創立四十周年に相當致
 しますので特別紀念號發刊
 します。宜敷御後援の程を。

東京醫學
 昭和醫學
 水産講習所
 日大豫科
 巢鴨高等商業
 早稲田高等師範部

高野鑛泉於中の湯
素詣會開催
 盛大な新館びらき

間口七間半、奥行五間半名畑、助川氏の(羽衣)木
 の總二階、客間八室の新館村教授、山崎忠兵衛、遠藤
 を落成した高野鑛泉旅館中氏の(声刈)大和田山崎泰
 の湯では、鶯の初音も床か氏の(鞍馬天狗)高萩、明
 しく梅が香の頻りに浮助す智、伊藤氏の(國相)とい
 る去る十七日の日曜日、平づれ勢らぬお目出度づくし
 町、湯本町、内郷村の喜多の番組を演じた。後らに
 流流土運中を請じて賑々し長瀬氏の仕舞(竹生鳥)山
 崎忠兵衛氏同(八島)山
 崎忠兵衛氏同(岩船)は舞は
 をそられて、平町からはせられ、廊下に居流れた傍
 佐藤教授をはじめ山崎、長瀬者の悉くが陶酔郷に恍惚
 瀧、明智、伊藤氏等郡内きとさせられた。

平町田町 電話五二三番
高久病院
 院長 高久忠
 副院長 赤羽清
 藥局長 佐竹菊雄

磐城セメント代理店
西村屋藥舗
 平町三町目(電話良三番)

内科、小兒科
藤沼醫院
 平町紺屋町 電話五〇七番

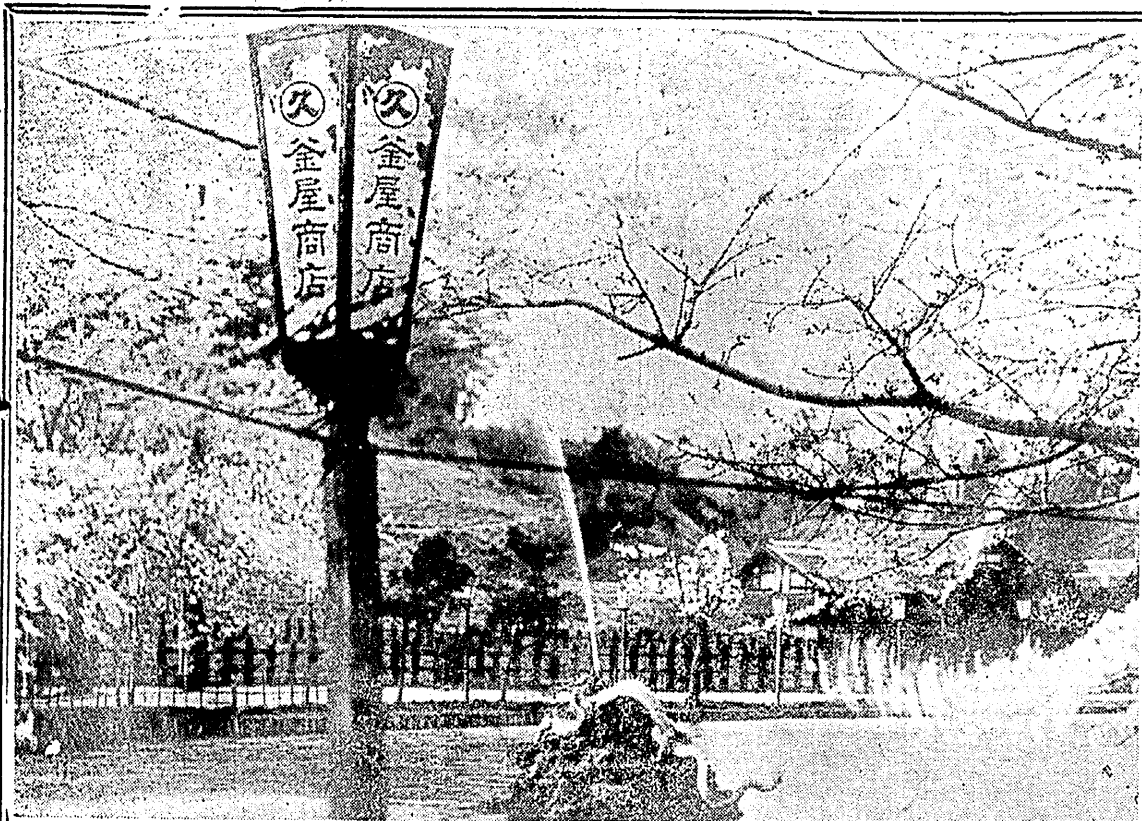
吸入用酸素 純度99%
 度量衡
 モノサシ
 マス
 ハカリ
 体温器
 寒暖計
關内藥局
 電話四〇番

鈴木家の慶事

西村屋樂鋪鈴木邦三郎氏
令息鈴木新右衛門氏は諸橋
久太郎氏夫妻の娘婿にて、
白河町の素封家荒井治右衛
門氏次女春代嬢と本月五吉
日結婚式を挙げられた。

井上氏雪冤 慰安會

於聚樂館
井上氏雪冤
慰安會



櫻花！ 爛漫！

仙鐵當局でも本格的に宣傳する事になった。平松ケ岡公園例年雪洞、提燈、空席であつたが長野縣松本小唄に足どり軽く最適の行樂地新川畔り、見頃は十四日ありからで殊に本部特派、井上陸軍中將の今年は天候に恵講演がある。

天理教本部参拜

櫻花妍を競ふ好期
来る十七日午後五時出發

野崎滿藏、大内政友會本
縣支部幹事長、平自營會長
木村前代議士、吉田弘、小山
祐五郎、松本小名濱消防組
頭の諸氏祝辭、佐々木龍若
氏より祝電披露があつて、
井上茂作氏及び親族代表に
中野浩忠氏が交々起つて謝
辭を述べ、井上氏の萬歳を三
唱して祝宴に移つたが數百

職員異動

廣木富之助先生が休職とな
り後任に山口縣生れ廣島高
等師範國漢科出の吉岡屋敷
三先生が來任された。

井上中將講演

来る十八日午後二時より同
校講堂に於て日本與國同盟
今年天候に恵講演がある。

知人消息

近藤廣記教諭は
高等官五等待遇

山崎宣吉教諭

正六位に各隆叙せらる。

成田政助氏

校長に榮轉された。

千葉右近氏

は伊達
郡保原より平第二小學校長
に榮轉された。

石城電話 番號便覽

昭和拾年度版「石城
電話番號便覽」は例
年より大變におくれ

觀櫻歡迎

平町二丁目
三井タクシー
電話六八五番

御料理 八千代

電話三七五番

藤寅

平一丁目 電話一四二番

なかや洋服店

平三丁目 電話二〇三番

福好工業會社

強口唯七郎
平田町 電話二八二番

平南町川岸

御料理 玉よし
電話四二六番

ライイト寫眞館

平振樋小路
電話五三五番

伊勢屋商店

平四丁目
電話四五番

大黒屋勝次商店

平三丁目
電話一六六番

清關内油店

日本石油株式會社特約店
磐城平町二丁目
電話六六番

和洋銅鐵金物商

安田生命保險代理店
帝國海上保險代理店
支店 郡山市驛前通
電話長三三八番
茨城縣關本驛前
電話長三七番

釜屋商店

電話九九番